

2025 年 12 月 17 日
第一工業製薬株式会社

2026 年 3 月期中間期 決算説明会 主な質疑応答

(開催日 : 2026 年 12 月 2 日 場所 : 当社東京本社セミナールーム(リアル&WEB 配信))

Q1 : 低誘電樹脂の需要状況を教えて欲しい。

A1 : 強い需要の状況が続いている。顧客フォーキャストに応えるため、原材料確保と生産体制の増強を進めている。

Q2 : 低誘電樹脂の販売構成を教えて欲しい。

A2 : ハイエンドグレード向けの需要が増加している。今後は次世代グレードの拡大を期待している。

Q3 : 低誘電樹脂の原材料価格高騰に伴う、価格転嫁の状況を教えて欲しい。

A3 : 現在、製品での価格転嫁を進めている。

Q4 : 環境・エネルギーセグメントは Q on Q で売上高が横ばいであるのに対し、営業利益が増加したのはなぜか。

A4 : LiB 用材料の伸長が大きな要因である。

Q5 : LiB 用材料の生産キャパシティを教えて欲しい。

A5 : 現時点ではほぼフル稼働となっている。既存設備の能力増強を進めており、可能な限り早期に立ち上げできるよう対応を進めている。

Q6 : 中期経営計画の目標値が上振れしているが、修正時期を教えて欲しい。

A6 : 見直しの検討はしているが、時期は未定である。設備投資計画や利益見通しを精査した上で修正する予定である。

Q7 : 配当性向 40%を目指す方針に変更はあるか。

A7 : 配当性向 40%の方針を維持している。今後の業績見通しや設備投資計画を精査した上で、見直しを行う可能性はある。

以上